



「Tracing-Shirt 135」2012年 ガッシュ、アクリル、コラージュ、紙 80.3×120.5cm 双ギャラリー出品作



「Tracing-Shirt 85」2010年 ガッシュ、コラージュ、紙 90.5×63.0cm RED AND BLUE GALLERY出品作



「Tracing-Shirt 144」2012年 ガッシュ、アクリル、紙 90.5×63.0cm 双ギャラリー出品作



「Tracing-Shirt 118」2011年 ガッシュ、アクリル、コラージュ、紙 90.5×63.0cm RED AND BLUE GALLERY出品作

## 島州一展「銀河鉄道 77」

【会期】 4月5日(金)～4月28日(日) ※金・土・日曜日のみオープン  
【会場】 双ギャラリー  
小金井市緑町2-14-35  
tel.042-382-5338

## 開廊記念 島州一展

【会期】 4月9日(火)～4月27日(土)  
【会場】 RED AND BLUE GALLERY  
中央区新富1-5-5 トーア新富マンション102  
tel.03-6280-5287

### しま・くにいち

1935年東京都生まれ。59年多摩美術大学絵画科卒業。70年代より版による実験的な試みを追求し、80年代より平面作品を発表。80-81年文化庁芸術家在外研修生として欧米留学。82年シドニービエンナーレ出品。個展、グループ展（京都国立近代美術館、広島市現代美術館など）多数。国内外の美術館に作品収蔵多数。

2011年の市立小諸高原美術館での個展では、「今ここに」とあるという印のアイコンとして、十字形を使ったインスタレーションを展開した島州一。70年代から用いられた十字形は、ここ10年あまり制作を続けているトレーシングシャツシリーズの新作にも登場する。

島は69年のデビュー個展でカルピスの商標である黒人の扮装で自らを作品化。同時に、版の「繰り返し」に注目し実験的な試みをしてきた。それは現代のバーチャルな時代の対応策であり、現実の象徴である椅子などを原寸サイズでトレースする行為として表れる。島はトレースという言葉の通り、敷き写すことで現実にある空間を確かめる。哲学者スピノザの空間に対する考えや証明理論にも共感

する作家ならではの表現である。

トレーシングシャツシリーズは作家が浅間に居を移したからこそ生まれた作品。メタモルフォーゼ（変容）のアイコンとしてシャツを描く。

今回、双ギャラリーの個展「銀河鉄道77」では、3・11以後に制作した、亡くなった父親のネクタイをトレーシングシャツ上に置き、銀河鉄道に見立て、十字がちりばめられた作品を発表。一方、開廊記念展となるRED AND BLUE GALLERYでの個展では、「トレーシングシャツと油彩のLandscape of Tableau」を展示する。両ギャラリーに出るトレーシングシャツシリーズは内容も構成も異なるもの。両方の個展とも見てほしい。

(編集部)

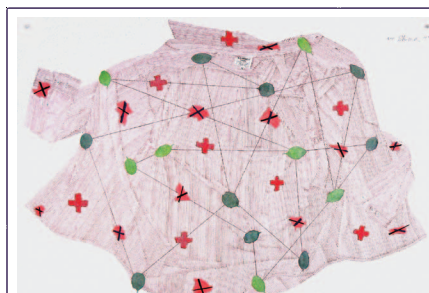
## 島州一展 銀河鉄道 77



2013年4月5日(金)～28日(日)

金・土・日曜日のみオープン  
13:00～18:00(日曜日は17:00まで)

双ギャラリー 〒184-0003 東京都小金井市緑町2-14-35 tel. 042-382-5338  
http://www.soh-gallery.com/



Tracing-shirt 803×1205 Gouache on Paper

## 開廊記念 島州一展

4月9日(火)～27日(土)

11:00～19:00

日・月曜日休廊

協力: 双ギャラリー

## RED AND BLUE GALLERY

〒104-0041 中央区新富1-5-5 トーア新富マンション102

Tel.03-6280-5287 Fax.03-6280-4736

www.redandblue.jp kaku@redandblue.jp